

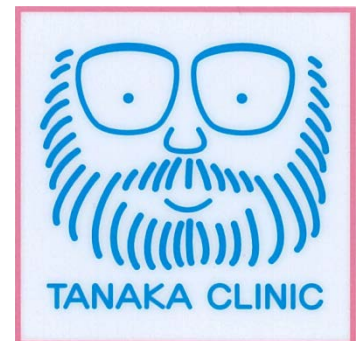
一般社団法人豊岡市医師会

目的: 豊岡市医師会は、日本医師会及び兵庫県医師会との連携のもと、医道の昂揚、医学及び医術の発達並びに公衆衛生の向上とを図り、もって社会福祉を増進することを目的とする。

地域: 豊岡市＋香美町

会員: 約160名（開業医80、病院勤務医80）

平均年齢: 約62歳



肝臓の病気

田中クリニック
田中 洋

平成29年7月5日



肝臓の解剖

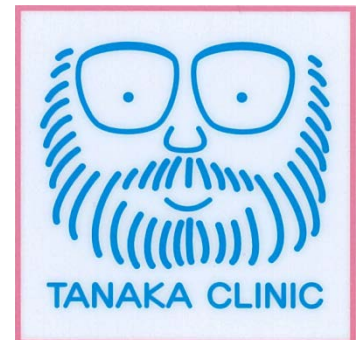
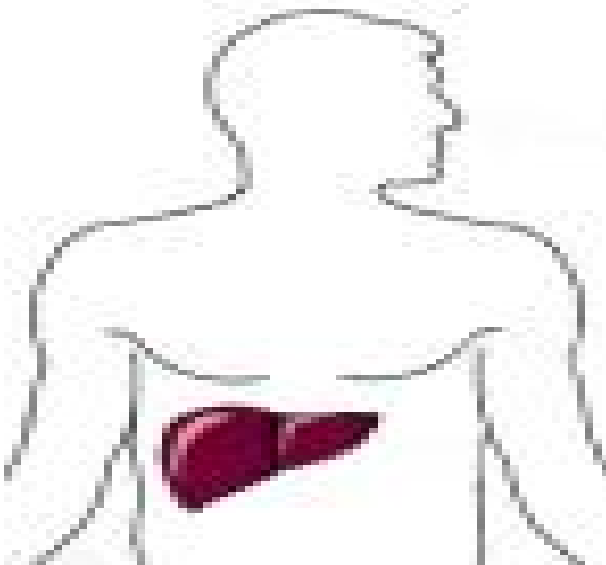
- 重さ 1200～1400g

- 血管

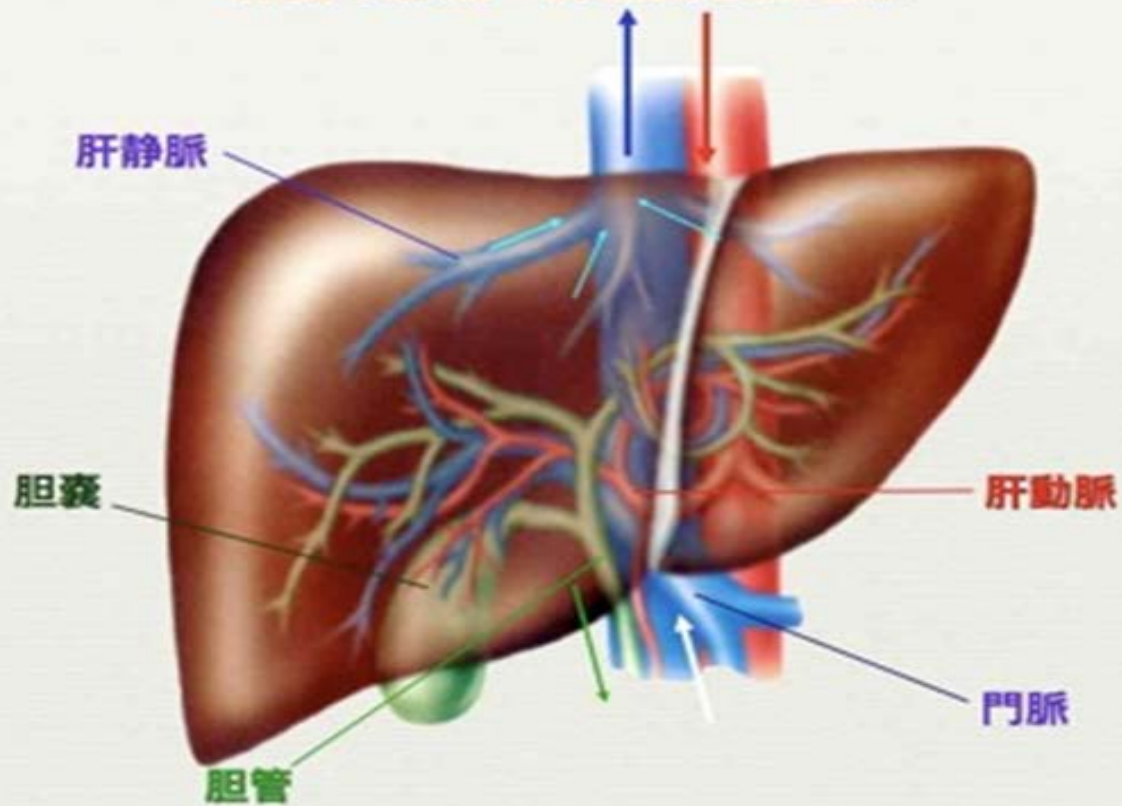
肝動脈・・肝細胞に酸素を運ぶ

門脈・・大腸、小腸で吸収された栄養を肝臓に運ぶ

肝静脈・・肝動脈、門脈より入った血液を心臓へ戻す



肝臓の解剖：肝血流と胆道系



TANAKA CLINIC

肝臓の働き

1. 糖質代謝...解糖、糖新生
2. 脂質代謝...コレステロールの合成、中性脂肪の合成
3. 蛋白代謝...腸で吸収された蛋白をアミノ酸に分解して肝臓に貯蔵したり、必要な時に蛋白を合成して体内に送り出す。
4. 薬物代謝...体に毒になる物を解毒する。



TANAKA CLINIC

血液検査の意味

GOT (AST: アスパラギン酸アミノトランスフェラーゼ)

...肝臓、筋肉、心臓の細胞

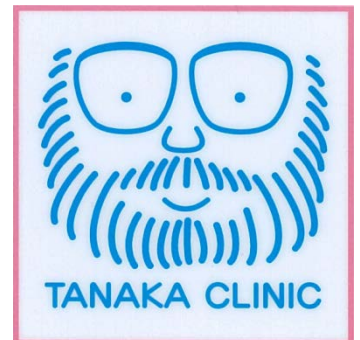
GPT (ALT: アラニントランスフェラーゼ)

...肝臓の細胞

γ-GTP (γグルタミルトランスペプチダーゼ)

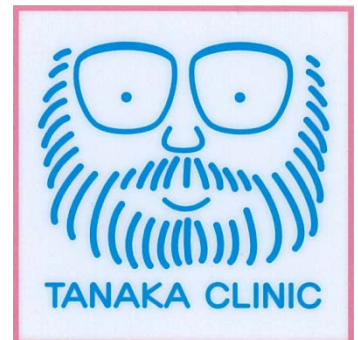
...胆管の細胞、解毒に働く酵素

※数値の異常は病気で壊されている肝細胞の数



急性肝障害(6ヶ月以内に完治する)

1. 薬物性肝障害...薬物に対するアレルギー、薬物そのものの肝毒性
2. ウイルスによる肝炎
 - ・肝炎ウイルスによる肝炎(肝臓だけを障害)
 - A型肝炎ウイルス...3~6月の生ガキや輸入貝類の生食
 - B型肝炎ウイルス...血液、体液
 - C型肝炎ウイルス...血液
 - D型肝炎ウイルス...B型肝炎に合併
 - E型肝炎ウイルス...発展途上国の飲料水
 - ・未知の肝炎ウイルスによる肝炎(肝臓だけを障害)
 - ・他のウイルスによる肝炎(主要症状は別にあり
随伴症状のひとつとして肝障害をおこす)



慢性肝障害(6ヶ月以上続く肝障害)

- 脂肪肝(アルコール性肝炎)
(非アルコール性脂肪性肝炎)
- B型慢性肝炎、肝硬変(150万人)
- C型慢性肝炎、肝硬変(200万人)
- 自己免疫性肝炎
- 原発性胆汁性肝硬変症
- 原発性硬化性胆管炎
- 肝臓がん
- 他臓器のがんの肝臓転移



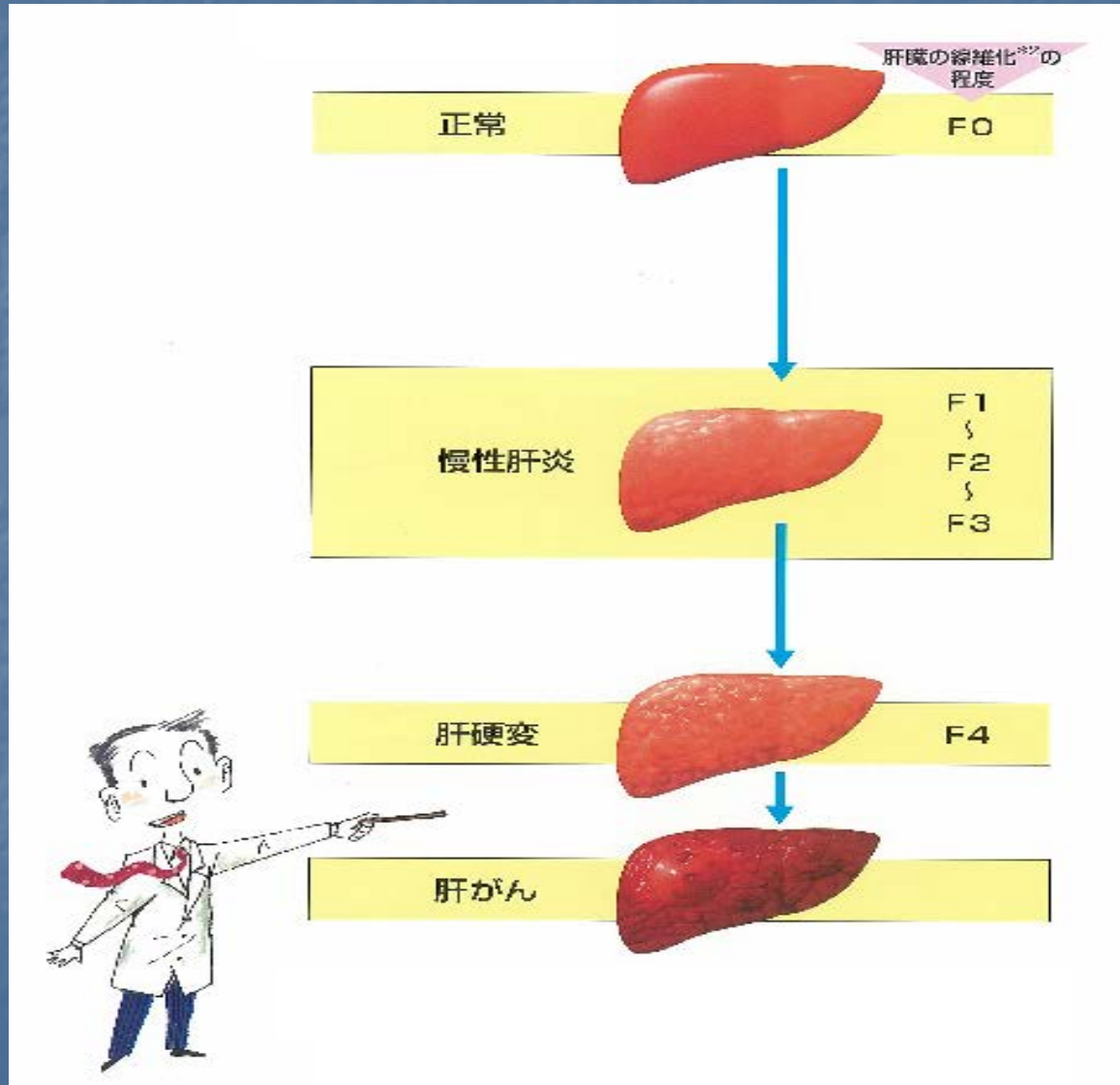
慢性肝障害の経過

血小板数

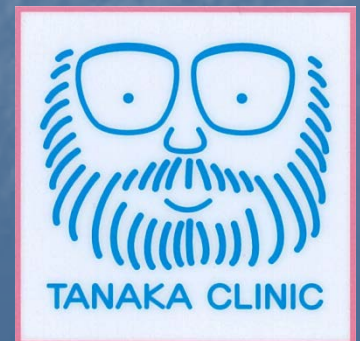
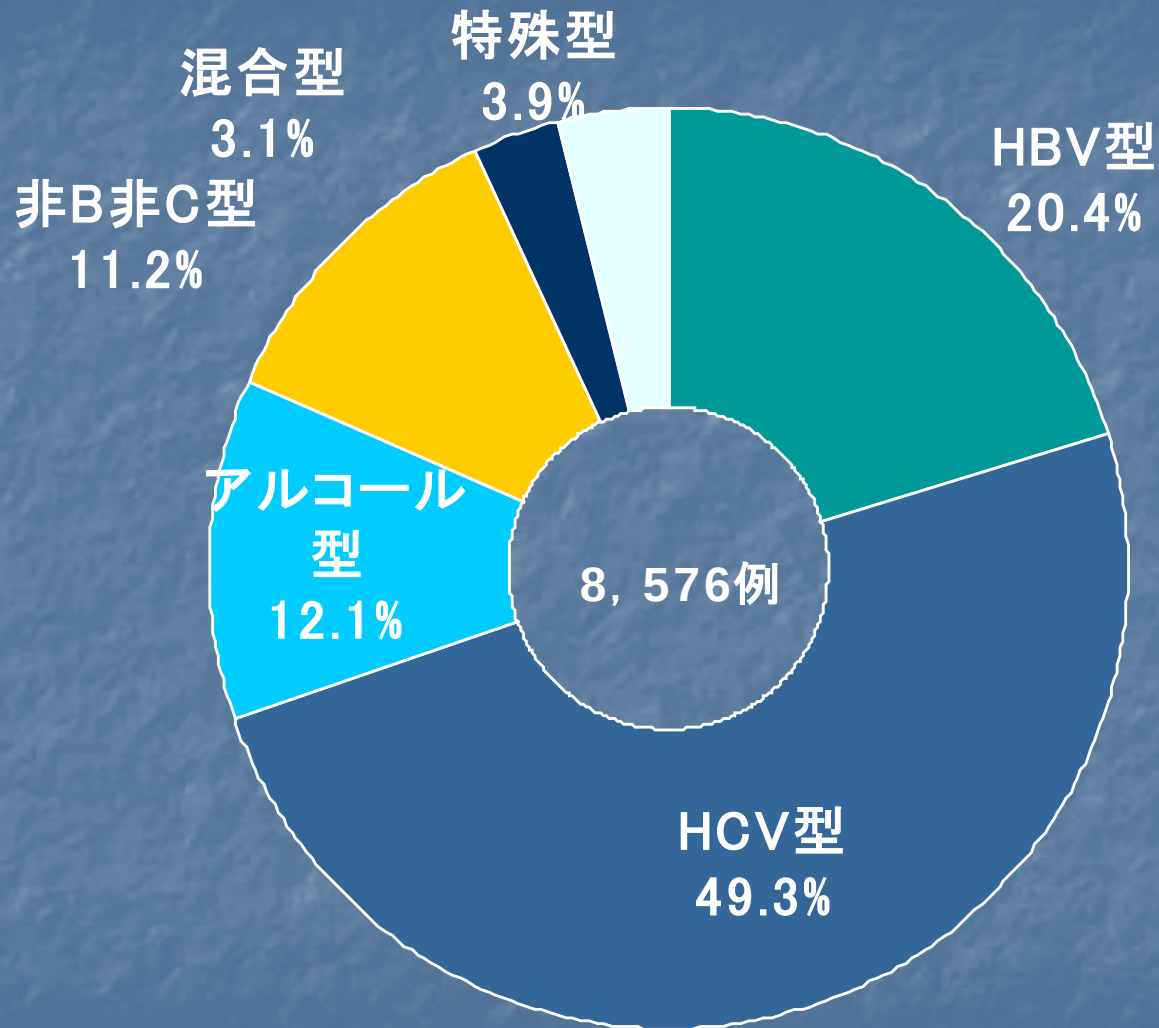
20万/ μ l

15万/ μ l

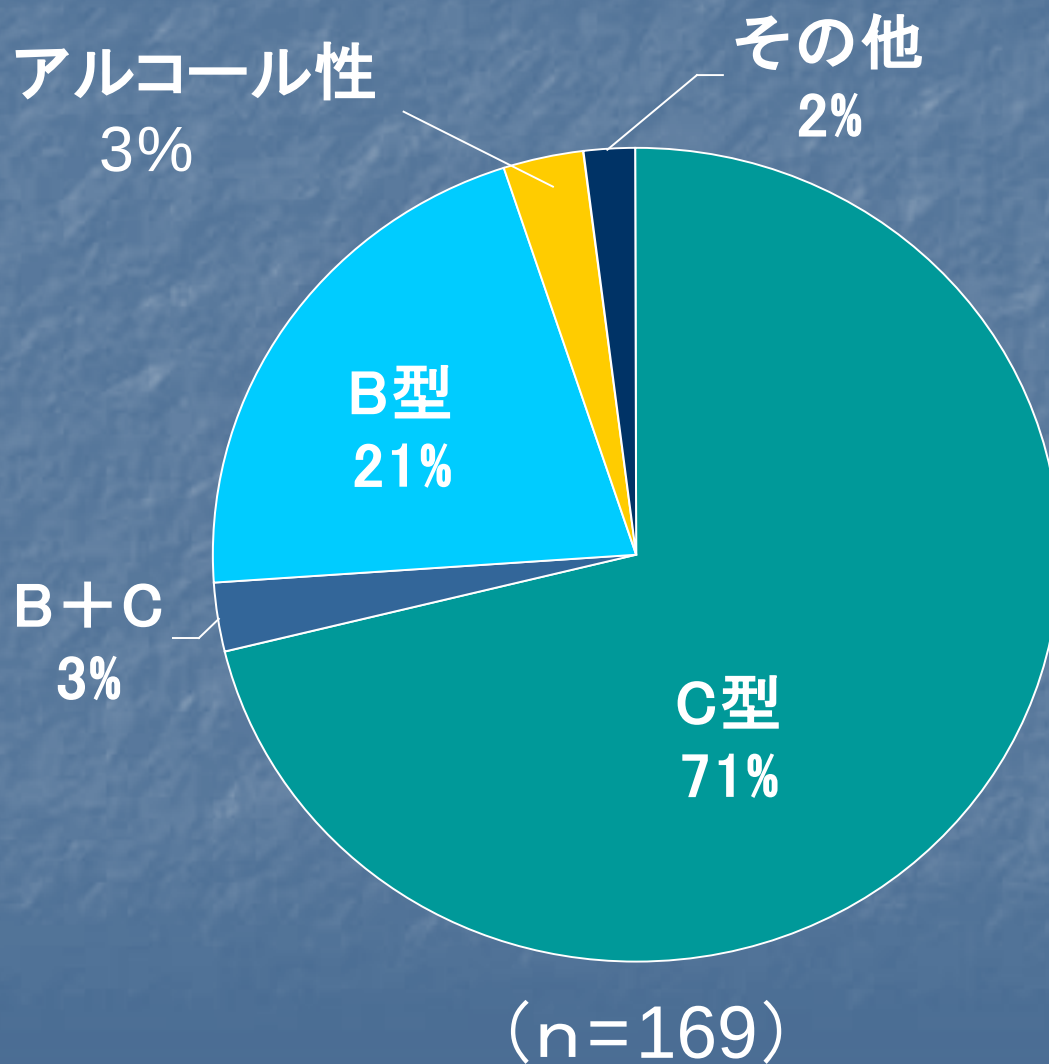
10万/ μ l



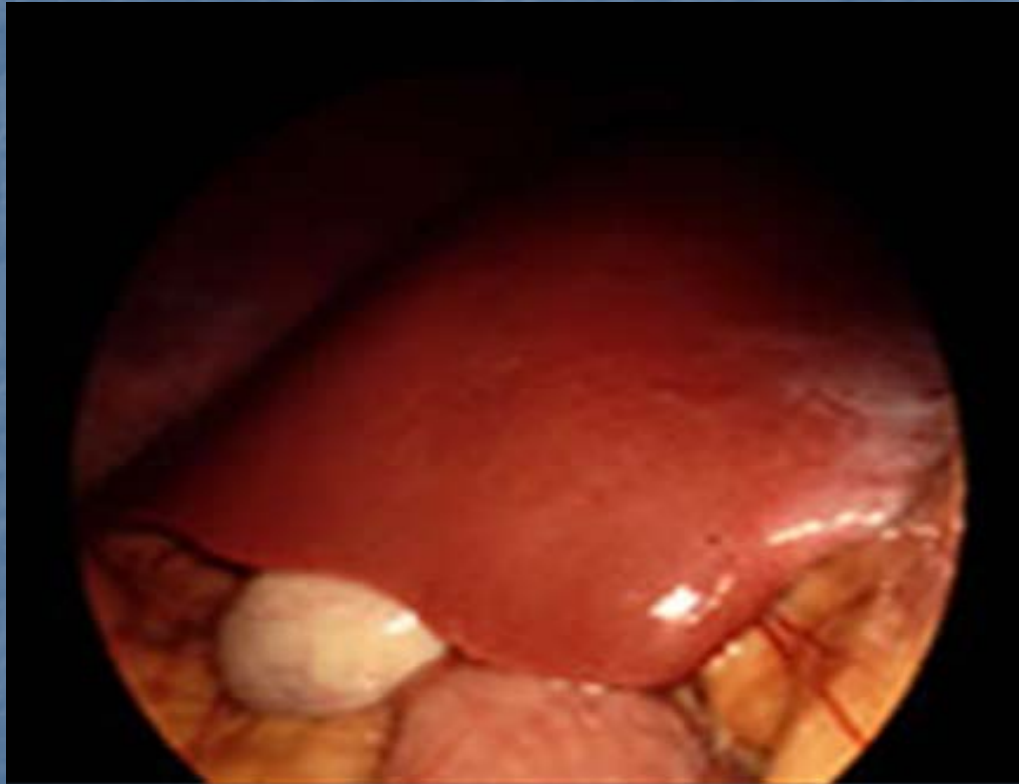
肝硬変の成因別実態

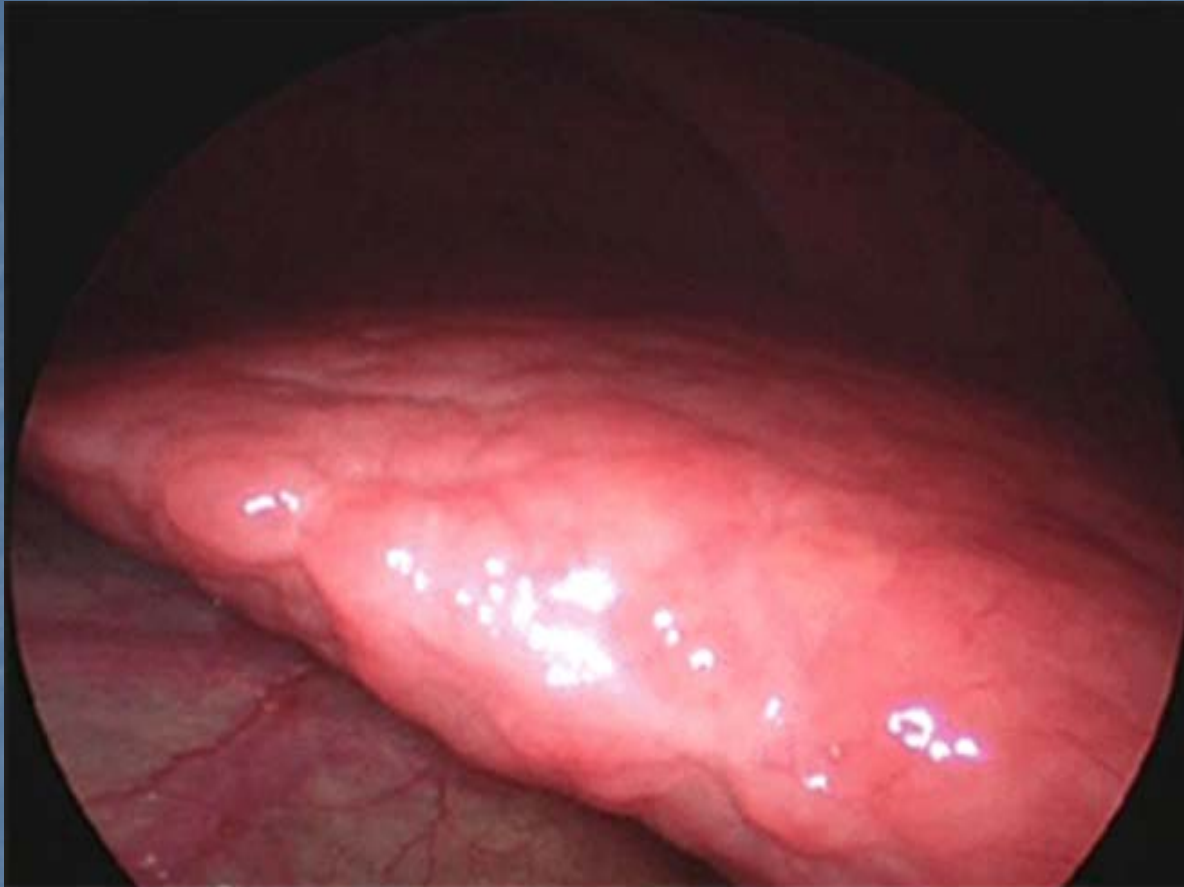


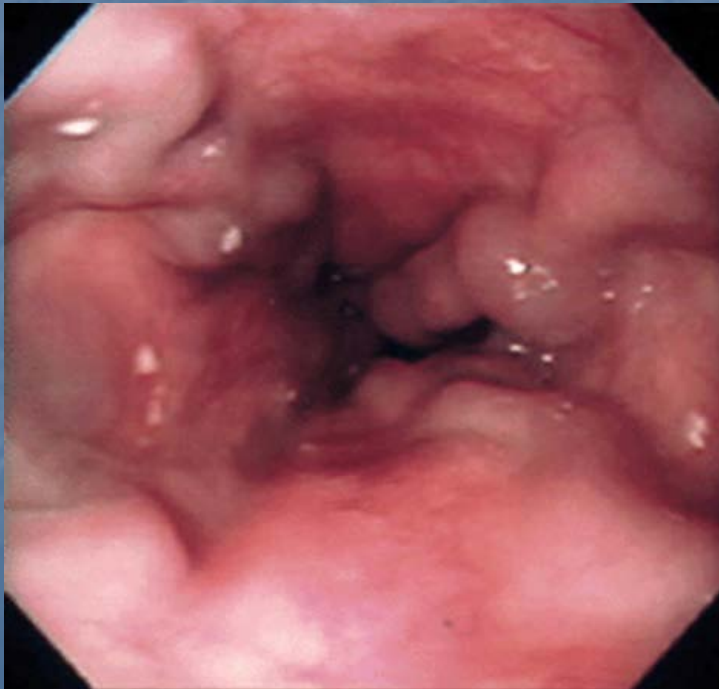
肝細胞癌基礎肝病変の成因

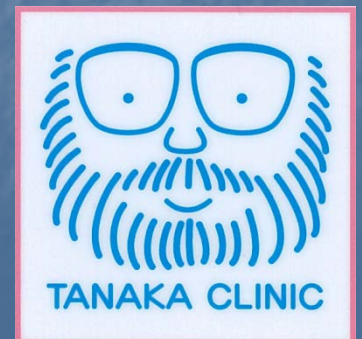


正常な肝臓









B型肝炎

①成人になってからの感染（針刺し事故、性交渉）



急性肝炎を起こして治療

②乳児期感染⇒急性肝炎⇒治癒

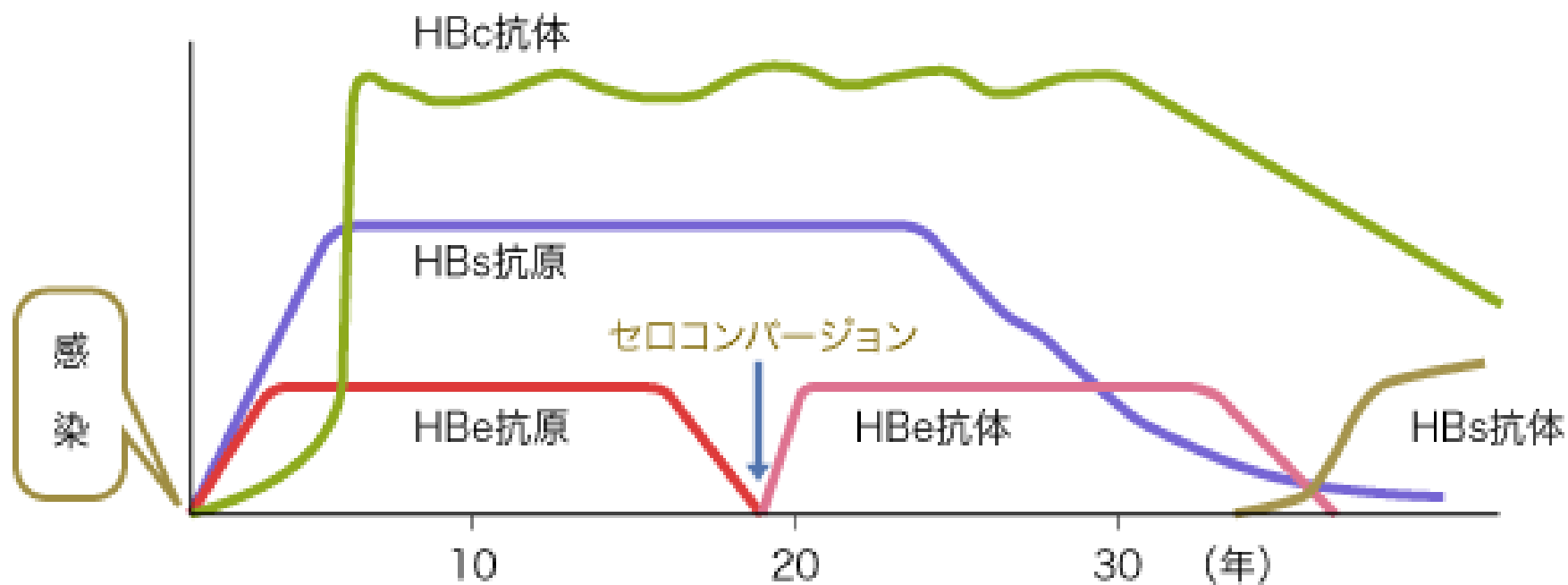


慢性肝炎（肝癌）⇒治癒



肝硬変（肝癌）





抗原・抗体検査の意味

HBV (hepatitis B virus) : B型肝炎ウイルス

HBs抗原 : HBV感染状態

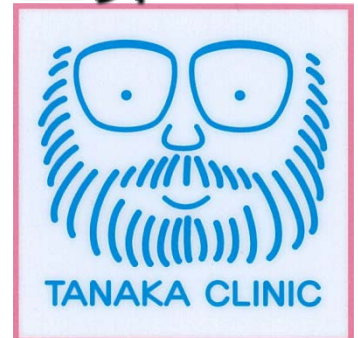
HBs抗体 : HBV感染の既往(防御交代)

HBc抗体 : 低値(殆どHBs抗体陽性)HBV感染の既往
高値(殆どHBs抗原陽性)HBV感染状態

HBe抗原 : 血中HBV多い(感染力強い)GPT上昇

HBe抗体 : 血中HBV少ない(感染力弱い)

HCV・DNA : 血中HBVの量



B型慢性肝炎の治療

- ・肝底護剤（グリチルリチン、プロヘパール）
- ・胆汁排泄促進剤（ウルソ）
- ・核酸アナログ製剤

（エンテカビル、テノホビル）

B型肝炎ウイルスに直接作用し増殖抑制
長期投与が必要

- ・抗ウイルス剤（インターフェロン）

24～48週、週1回注射
投与終了後、再燃が多い

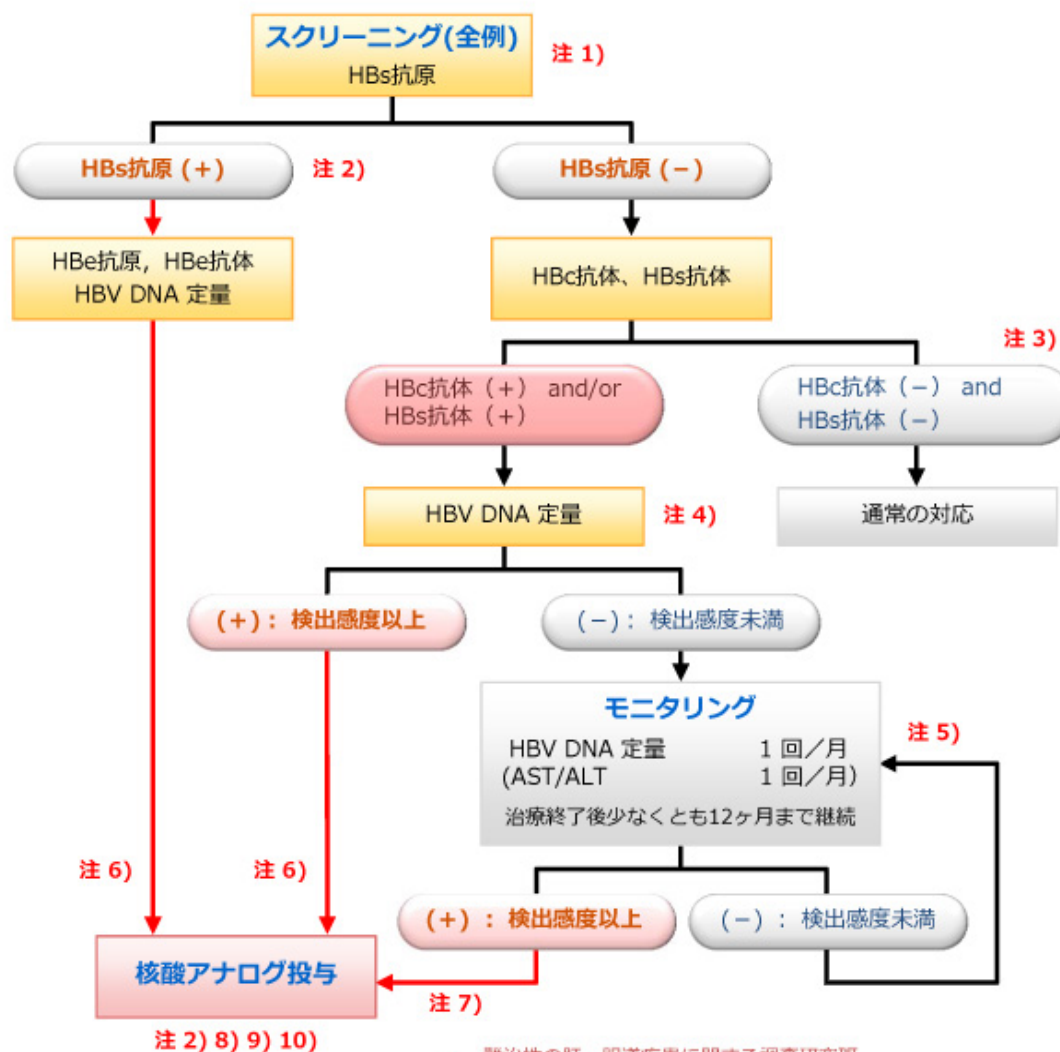


B型肝炎の再活性化

いったん治ったと思われる患者さん、または無症候のHBVキャリアが、がん化学療法や免疫抑制剤療法を受けることで、HBVが再活性化してB型肝炎を発症することです。De novo B型肝炎ともいわれています。HBVの感染歴があると、再活性化をきたし、重症化・劇症化することもあるので、注意が必要です。



免疫抑制・化学療法により発症するB型肝炎対策ガイドライン（改訂版）



- 難治性の肝・胆道疾患に関する調査研究班
- 肝硬変を含めたウイルス性肝疾患の治療の標準化に関する研究班



今日のまとめ

- ・ALT、 γ -GTPはその時の肝臓の状態ではなく、悪化するスピードを示している。
- ・その時の肝臓の状態は血小板がよく反映する。
- ・肝障害の治療や予後を予測するには、原因を診断することが大切である。
- ・B型肝炎は慢性肝炎(肝硬変になる前)の状態でも肝臓が癌が発生することがあるので注意が必要である。
- ・B型肝炎は臨床的治癒(HBs抗体陽性)となっても肝細胞にウイルスが潜んでおり、免疫抑制剤や抗がん剤の投与で再活性化することがあるので注意が必要である。
- ・1歳までにHBワクチン定期接種を。

